

様式 1

環境保全行動
自動車使用管理 計画提出書

2025 年 7 月 17 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住 所

〒 160-8575
東京都新宿区四谷本塩町5番1号
氏 名 雪印メグミルク株式会社
(代表者名) 代表取締役社長 佐藤 雅俊

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例に基づき、環境保全行動計画を策定しましたので、次のとおり提出します。

事業の概要		9 食料品製造業												
事業の規模	従業員数	271		人	原油換算した		3,233		kl					
	使用床面積	25,667		m ²	燃料・熱・電気の合計量									
	事業所数	3	事業所	自動車使用台数		34		台						
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	7,110		t-CO ₂	メタン	t-CO ₂		N ₂ O	t-CO ₂				
		非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂		PFC	t-CO ₂		SF ₆	t-CO ₂		NF ₃	t-CO ₂		
提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)						☒ 第 1 項 ☐ 第 3 項						
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)						☐ 第 1 項 ☒ 第 2 項						
計画書の担当部署		担当部署名												
		担当者氏名												
		電話/FAX												
		電子メールアドレス												
計画期間		2025	年	4	月	1	日	～	2028	年	3	月	31	日
環境保全行動 自動車使用管理 計画書		別添のとおり												
備考	環境マネジメントシステムの 認証登録の有無及びその種類	☒ 有 (認証名 JIS ISO14001:2015) ☐ 無												
	その他													

注 1 事業の概要は、事業所における日本標準産業分類の中分類項目に掲げる業種及びその業種に対応する日本標準産業分類における分類番号を記入してください。

2 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、4月1日現在で記入してください。

3 事業所数は、4月1日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

4 燃料・熱・電気の合計量は、計画期間の初年度の前年度に使用した量を原油換算して記入してください。

5 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則第4条に規定する方法で行ってください。

6 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

7 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

8 環境マネジメントシステムの認証登録がある場合は、認証登録の範囲が分かる書類の写しを添付してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動計画書
自動車使用管理計画書

1 基本的な方針

私たち雪印メグミルクグループは、自然の恵みから生まれるミルクを中心とした事業活動と地球環境の共生を目指します。そのために、「雪印メグミルクグループ 企業行動憲章」に基づき、「雪印メグミルクグループ 環境方針」をここに定め、持続可能な資源の有効利用に努めます。

1. 法令の遵守: 環境法令・条例および自主基準を遵守し、法改正などに迅速に対応します。

2. 環境への配慮: 重要課題(マテリアリティ)を特定し、KPIを達成することで、限りある資源の有効利用、温室効果ガスや廃棄物の排出抑制、リサイクル・リユースに継続的に取り組みます。

3. 環境意識の向上: 環境保全に対する自覚を持つとともに、環境教育を積極的に推進します。

4. 生物多様性の保全: 事業活動において、資源を持続可能な形で利用することで、生物の多様性を保全し、未来の社会作りに貢献します。

5. 環境情報の開示: 環境情報を積極的に開示し、透明性のある環境保全活動に努めます。

2 行動目標

【計画期間】

2025 年 4 月 1 日 ～ 2028 年 3 月 31 日

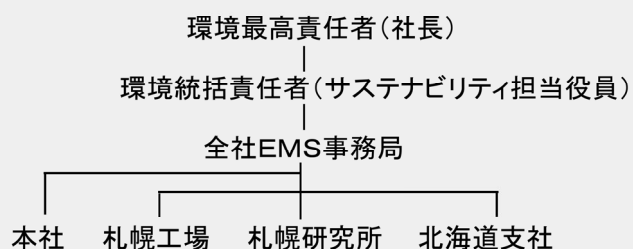
行動目標	基準数値		目標削減率	目標数値		基準数値の設定根拠	削減項目
	数値	単位		数値	単位		
CO2排出量の削減(原油換算値、原単位)	18.64	kl/億円	1 %	18.5	kl/億円	2024年度実績	電力、都市ガス
車両の燃料使用の効率化(維持目標)	0.0764	l/km	0 %	0.0764	l/km	2024年度実績	ガソリン使用量
			%				
			%				
			%				
			%				

- 注 1 目標削減率は、基準数値（二酸化炭素排出量等）に対する削減率です。任意で設定してください。
- 2 目標数値は、基準数値と目標削減率から算出してください。
- 3 自動車使用管理計画策定義務を負う事業者は、自動車の使用に伴う二酸化炭素排出抑制に関する目標を必ず設定してください。
- 4 基準数値の設定根拠には、基準年等を記入してください。

3 行動計画

行動目標	行動計画	責任部課	実行部課	2025 年度	2026 年度	2027 年度
C O 2 排出量削減	集約化に伴う生産体制構築(生産効率化)	工場	全部署			
	集約化に伴う生産体制構築(洗浄削減)	工場	全部署			
	集約化に伴う生産体制構築(空調の見直し)	工場	工務課			
効率化の燃料使用の	社有車の燃料使用の効率化	支社	業務課			

4 環境保全に係る実施組織体制



5 その他（環境保全活動の取り組み等）

1. 「北海道クールアイランドキャンペーン」参加
2. 「北海道 道有林オフセット・クレジット」によるカーボンオフセット(30t-CO₂)
3. 「さっぽろエコメンバー」登録
4. 「生物多様性さっぽろ応援宣言企業」登録
5. 「北海道あったまろうキャンペーン」参加
6. ISO14001に基づいた環境保全活動の実施(札幌市内全事業所ISO14001認証)
7. スキージャンプ大会のカーボンオフセット(雪印メグミルク杯)